

## 1 . 序論

## 2 . 提言

## 3 . 20 世紀社会の回想

- 3.1 微妙なバランスの上に成り立った自然循環を基本とする社会を形成してきた 19 世紀まで
- 3.2 豊かさを求め海外との結びつきを強めた 20 世紀
- 3.3 限界の兆しが見えてきた 20 世紀末

## 4 . 21 世紀社会を脅かす現象

- 4.1 人口減少社会の到来に伴うひずみ
- 4.2 資源の制約された社会の出現
- 4.3 水を取り巻く環境の変化
- 4.4 地球規模の環境問題の増大
- 4.5 大量消費型社会の終焉

## 5 . 21 世紀の社会システム・国土管理のあり方

- 5.1 大量消費型社会から自然循環を重視する社会への円滑な転換
- 5.2 価値観の転換
- 5.3 水との関わり合いの転換
- 5.4 人と自然との関わり合いの転換
- 5.5 21 世紀の社会システム、国土管理のための流域圏管理
- 5.6 利根川流域圏・仁淀川流域圏におけるケーススタディー

## 6 . 国際社会への貢献

- 6.1 水問題に関する日本の国際協力
- 6.2 モンスーン・アジアの地域特性と水問題
- 6.3 日本の果たすべき役割